

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	29	ケア記録や申し送りノートを活用、毎日の昼礼等で情報を共有し計画の見直し等に活かしているが実践は職員のスキルの問題があり、出来ている部分と出来ていない部分がある。	職員にケアマネジメントの視点を持ってもらいケアの統一化を図ることが目標となる	・ユニット内の正社員にリーダー的立ち位置の自覚を持ってもらう ・ある程度のスキルを持った職員もおり、現場において声をかけあう ・毎月のミーティングにおいて個別カンファを徹底していく	6 か月	期間終了後に評価する
2	48	ケアプランでも必要に応じて居室で休息をとっていただくようサービスの位置づけを行ったりしているが現場において指示を出さないことできてないことも多い	介護スタッフが利用者様の状態を観察しその日のバイタル等から判断して実行できるようにすることが望ましい。自ら判断し実行する。	職員が出勤と同時にご利用者一人一人の目の高さに合わせ、挨拶を行い、「今日も元気ですか？」などの具体的な言葉かけを行う。	3 か月	同上
3	15	外部研修の情報を提供したり内部研修の機会を設けたりしているが職員の入れ替わりがあつたり難しい面もある。また、レポート提供を義務づけているが内容から推察すると理解度は低い	向上心を持ってもらい外部研修にも積極的に参加してもらう	今後も外部研修の資料を提供するとともに研修受講の声かけや現場での指導体制を確立していく	3 か月	同上
4	23	利用者の入れ替わりがあり、また、皆様認知症の症状があるため利用者同士の支えあいはできていない、かかわりは2ユニットのうち1ユニットはできている。	2ユニットのうち1方は攻撃型の利用者様が複数おられ言い合いになったりしている。もう1方は認知症の進行した方が多く会話があまり聞かれない。利用者の個性や病状を考慮しながらバランスよく居住していただくことが理想である。	ご家族に相談したうえでの居室移動も検討課題であるが席の配置を変えたり職員がサポートし関係性を築いていけるよう対応を今後も行っていく。	3 か月	同上
5	36	年に1回急変時対応やAED使用についての研修を行っている。資料を用い実践を通して対応力を身につける機会を設けているが職員の入れ替わりがあることが課題となっている。	常に全員がマニュアルを把握し緊急時に対応できることが望ましい。	職員の入れ替わりが複数回あるときは年1回の研修期間を短縮したりして対応する。	3 か月	同上

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		( ↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った ⇒ 家族の代表に報告し話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )